

令和 5 年度 支援力向上委員会 活動報告

支援力向上委員会では、適切なサービスを提供するため、また、職員の資質向上のため、活動しています。今年度は、職員研修の企画・開催を中心に活動を行いました。

職員研修会

10月28日(土)に福井市きらら館にて職員を対象に集合形式で開催(60名参加)

今年度の職員研修では、全事業所のサービス実践報告を行いました。各事業所とも、日頃から積み重ねてきた支援内容について、報告しました。

【事業所名：報告テーマ】

若狭事業所：こだわりのあるKさんへの支援について

あわら事業所：事務所行っていいですか？～Fさんの思いを大切に、適切な支援を目指して～

福井事業所：強度行動障害の方の支援を通して

おくえつ事業所：自分らしく生きていく～自身と向き合う勇氣～

丹南事業所：一般就労に向けて

丸岡南中事業所：私の成長～私の歩んできた道～

小浜事業所：言葉はでないけど僕の気持ちを知ってほしいな～親指はお父さん、人差し指はお母さん 僕のサインには全部意味があるんだよ～



ケース検討や行動の分析など、工夫して支援に取り組んでいる様子が見受けられました。また、他の事業所の報告を聞くことで、明日からの支援に活かしたいという意見が多く聞かれました。今回、参加した職員で、「利用者の自立・能力向上及び、利用者の満足度 UPにつながる取り組みが具体的に」等の視点から投票を行いました。結果は、1位 小浜事業所、2位 福井事業所、3位 おくえつ事業所となりました。

報告会後は、仁愛大学名誉教授 西村重稀氏より、「ケース検討会のまとめ」と題し、講義をいただきました。西村氏には、令和3年度・4年度にかけて、各事業所を巡回してケース検討会を実施していただきました。今回は、その振り返りと、障がいのある方への支援方法のアドバイス等を講義いただき、改めて障がいについての知識を深めることができました。

所属委員紹介 ～今年度の活動を振り返って～

委員長

恐神 さやか (本部)

今年度の職員研修では、各事業所から支援についての報告を行い、職員の支援の向上につながったと思います。研修を通して、委員同士つながりができ、今後の支援に活かしていきたいです。

澤 千絵 (福井)

今年度も委員として職員研修の企画や運営に携わることができ、昨年度よりも全体を見ながら役割をこなすことが出来たと思います。サービス実践報告会は資料準備など大変でしたが、自分はもちろん職員みんなの支援力の向上につながったと感じ、良い経験になりました。

福田 久修 (若狭)

職員研修も集合で事業所ごとの課題や結果などを聴けた事。昨年と今年支援力向上委員会に参加出来た事。そしてこれからも社会から選んで頂ける法人を目指し、一日に1回は笑顔になれる支援を目指します。

北川 真衣 (おくえつ)

職員研修では、自身の事業所の方々と協力し合い、取り組むことができました。資料や台本作成は初めての経験で、苦戦しましたが、とても良い経験になり大きな達成感を感じました。委員の皆様、お疲れ様でした。今後も委員会です培った経験を活かしていきたいです。

若松 香代子 (小浜)

今年度は委員として2年目を務めさせて頂きました。今年度も職員研修集合型で開催することが出来、また実践報告会で更に活気ある会になったことがとても嬉しく思いました。各事業所の職員さんの思いが直接聞けて初心に帰った思いで勉強になりました。委員の皆様とも今年も助け合いスムーズに進められ感謝しか有りません。ありがとうございました。

高橋 千恵 (丸岡南中)

今年度、初めて委員を務めさせて頂く事になり不安しかなかった私に、いつも皆さんから声をかけて頂きました。支援に対する考え方や向き合い方を聞く中で、自分の考え方が前向きになりました。そして、職員研修の準備をして初めて物事の意図が見える物があり、良い経験をさせて頂きました。